

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	「電波吸収体とその応用」出版小委員会		主 査 名：吉野涼二 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：加藤信介 主 査 名：吉野 博
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	「電波吸収体とその応用」の出版に向けての下記活動の実施 ・原稿の執筆、提出、校正 ・出版へ向けての諸作業、出版		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 橋本修(青学大)、西方敦博(東工大)、青柳貴洋(東工大)、豊田誠(日本道路公団)、東田豊(アイテラミックセンター)、ウイグナラジ・パ・シバ・クマラン(大成建設)、遠藤哲夫(大成建設)、田代英太(波動システム研究所)、国島武史(竹中工務店)、木村健一(ジグタ)、宗哲(横浜ゴム)、小野裕司(NECトヨタ)、戸高嘉彦(アジレントテクノロジー)、栗原弘(TDK)、吉野涼二(大成建設)、		
設置 WG (WG 名：目的)			
2006 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	0 回 (年度内計画を含む) < 原稿執筆作業主体のため >
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1．原稿執筆完了予定が当初の「2006.3 月末」から「2007.1 月末」へ変更 2．年度内の出版は不可能 (2007 年度にて完了の予定)
委員会活動の問題点・課題	1．原稿締切り期日等の遵守 2．「学会直販」「委託出版」定義の明確化

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。

* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2006 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>B</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>(仮題)「電波吸収体とその応用」の出版に係わる執筆、編集作業がほぼ終了したが、出版へ向けての校正、出版社との調整作業等が未達成となった。今後、2007年度早期の出版へ向けて対応する。なお、小委員会活動としては今年度にて終了することとした。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。